

第1学年 英語科学習指導案

日時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅲ

生徒 1年4組 男子16名 女子17名 計33名

指導者 佐々木俊民

1 単元名 PROGRAM7 「Dilo the Dolphin」

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、前のPROGRAMである由紀のイギリス旅行と関連しながらも生徒に馴染みのない人物を扱う題材である。学習事項としては、指導要領における言語材料・文法事項の疑問文のうち疑問詞で始まるものにあたる。それぞれの人物が自分の気持ちを表現する展開の中で「人の名前についての応答」や「人について言うときに使う言葉」、「物事を行うときの応答」ができるよう学習を進めていくこととなる。そのため、人になつきやすいイルカやイルカウォッチングという話題にふれながら学習内容を進めていく必要がある。

(2) 生徒について

生徒たちは中学校での英語の授業を通じて「自分について」や「好きなことやすること」、「何をするかたずねる」、「数をたずねる」などの学習を行ってきた。英語科で重要視している「振り返り」については、既習事項の想起場面や終末部分の再確認とで主に行うが、それを生かして考えたり、重要内容として確認する部分がまだ身に付いていない生徒もいる。本単元では、第3者について名前や身分・行為を行う時間をたずねる学習を通じて、疑問詞(who, when)や人称代名詞目的格(him, her)を使った応答ができるよう教科書に沿って学習を進めていく形式にしたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、「人の名前についての応答ができる」「人について(～を、～に)言う時の言葉を使うことができる」「物事を行う時にたずねることができる」ようになるために、示した英文から「何をたずねる時に何を使うのか」を明確にしたり、自分の身近にいる人などの写真から紹介しながら自分の気持ちを述べさせたり、基本文を使った言い合いを取り入れていきたい。そのためには、導入でwhatやhowを使った英文にふれることで疑問詞whoを使った英文にスムーズに慣れさせたいし、終末の確認でしっかりとした定着を図りたい。また、基本文を何度も聞いたり何をたずねているか明確にすることで見通しの場面を設けていきたい。

3 単元の目標

○人の名前などをたずねたり答えたりすることができる。【外国語表現の能力】【外国語理解の能力】

○人について「～を」「～に」と言うときに使う言葉を使うことができる。

【外国語表現の能力】【外国語理解の能力】

○物事を行う時をたずねることができる。

【外国語表現の能力】【外国語理解の能力】

4 指導計画 (PROGRAM7 セクション1: 6時間扱い 本時 1/2)

時間	学 習 活 動
1	・疑問詞(who)を使って身近な人についてたずねたり答えたりする。(本時)
1	・由紀がイギリスから持ち帰ってきた本の内容について考える。
1	・人称代名詞目的格(him, her)を使って第3者について紹介する。
1	・由紀が読んだ本から人間とイルカの関係について考える。
1	・疑問詞(when)を使って物事を行う時をたずねたり答えたりする。
1	・由紀が話すイルカウォッチング内容について考える。

5 本時の指導について

(1) 目標

人の名前などをたずねたり答えたりできるようにする。

(2) 評価規準

観 点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手だて
外国語表現の能力	疑問詞whoを使って人の名前についてたずねたり、答えたりすることができる。	英文のwhoがたずねている部分にアンダーラインして何を答えればよいか視覚的に分かるようにする。
外国語理解の能力	「友だち」か「いとこ」か、などの区別について聞き分けて、たずねたり答えたりすることができる。	CDを数度聞き全体練習およびペア練習を加える。

(3) 指導の構想

- ・Warm-Up で既習学習である疑問詞 (what, how) を使った英文の振り返りを行うことで、応答がyes, noにならない場合があったことや何を聞かれているのか把握する必要があったことを思い出させる。
- ・まとめや次時予告の前に本時の学習の中心となる内容「人の名前や身分をたずねる時にはwhoを使い、答えるときには名前や自分との関係を答える」ことについてきちんとふれて理解を定着させる

(4) 展開

段階	学 習 活 動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点 (方法) ☆「見通す・振り返る」活動
導 入 10 分	1 既習事項を想起する 2 本時の課題を確認する 人の名前をたずねたり答えたりできるようになろう。	全 全	○生徒との会話を通して本時に学習する英文を提示する。 ○本時の課題を考えさせる。
展 開 30 分	3 本時に学習する英文を確認し覚える	全 全→ペア 全 ペア→全 ペア→全	○新出語句に取り組みさせる。 ○「おぼえよう」のリーディングに取り組みせまとめさせる。 ○「おぼえよう」の内容について確認する。 ●whoを使った英文をまとめることができたか。 ○whoを使った英文のリスニングに取り組みさせる。 ●whoを使った英文を友だちか、いとこか区別して聞くことができたか。 ○教科書を使って「この男性 (女性) は誰ですか。」「彼は (彼女は) ~です。」という会話文にペアで取り組みさせる。 ○男の子や女の子の様子について「She (he) has ~.」という会話文にペアで取り組みさせる。 ●「この男性 (女性) は誰ですか。」「彼は (彼女は) ~です。」や「男の子 (女の子) の様子」について話すことができたか。
終 末 10 分	4 課題についてまとめる 人の名前などをたずねるときにはwhoを使う。 5 本時の振り返りをする	全 全 個→全 全	○本時のまとめをノートに記入させる。 ☆まとめを行ったあとで再度今日の学習内容について確認する。 ○今日の学習内容について再度確認する。 ●本時の学習について振り返ることができたか。 ☆本時を振り返り、今日の学習についての自己評価を行う。 ○次時の学習について予告する。 <期待する振り返りの例> 誰かとたずねる時にはwhoを使ってたずね、名前や関係などについて具体的に答えればよいことがわかった。